

農業を通して、広がる交流

農家民宿受入農家を募集

市農家民宿連絡協議会では、農家に宿泊して農作業を手伝い、農家の人たちとの語らいから農業・里山・自然の大切さを学ぶ農家民宿に取り組んでいただける農家を募集しています。



見学会を開催します

実際の受け入れ状況を見学できます。お気軽に参加ください。

- 日時 10月6日(火) 午後0時30分～3時
- 場所 堀金公民館駐車場(体験中は農家は場へ移動)
- 内容 広島県安芸高校受入式・農業体験等の見学
- 申し込み 9月30日(水)までに下記の問い合わせ先まで連絡ください。



農家民宿の流れ

- 1 旅行会社を通じて学校からの参加希望
→ 市農家民宿連絡協議会受け付け
- 2 市農家民宿連絡協議会が農家・学校などと連絡・調整
※宿の選定や食材の共同購入など
- 3 受入実施
※協議会で参加校との連絡調整
※協議会で受入式、解散式実施
- 4 宿泊料など清算



農家民宿事業の概要

●実施期間・対象・内容

- ・実施期間: 5月から10月まで
- ・対象: 都市部(関東・関西中心)の中学生・高校生の教育体験旅行
- ・内容: 1泊2食(夕・朝食)。受け入れ人数は1農家5人まで
- ・農作業メニュー(例)

▷田: 田植え、稲刈り、脱穀▷りんご: 花摘み、摘果、玉回し、収穫▷野菜: 土おこし、苗植え、収穫▷花き: 土作り、苗植え、手入れ、出荷▷ハウス: 土おこし、苗植え、収穫

●民宿開業に必要な手続き

- ・簡易宿所の営業許可の取得
消防署と保健所への申請手続き(手数料23,000円 ※市補助制度有)
- ・設備
既存の住宅を使用し原則、改築や改修を必要とすることはありません。詳細は事務局まで問い合わせください。

●宿泊・指導基本料金

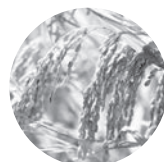
一人につき1泊2食6,800円(税別)。料金は受け入れ後に協議会から支払います。

問 安曇野市農家民宿連絡協議会事務局

〒399-8281 安曇野市豊科6000番地

▷農業者向け窓口(農家民宿への登録・各種相談)
農政課マーケティング担当 TEL 71・2430 FAX 71・2507

▷一般向け窓口
観光交流促進課ブランド推進担当 TEL 71・2053 FAX 72・1340



「インタビュー」 受入農家の声

家族のように、自然体で

新たに発足した市農家民宿連絡協議会。協議会の会長を務める古旗さんに伺いました。



古旗和江さん(堀金三田)
市農家民宿連絡協議会会長

Q1 農家民宿を行う学校が増えてきているそうです。農家民宿の魅力とは?

土に触れ、採れたての野菜を味わい、土地の人々と交流ができるのは、農家民宿ならではの楽しみではないでしょうか。都市圏から訪れた生徒の皆さんは、市の田園や畑の作物など、一つ一つの光景に目を輝かせて感動してくれま

Q2 協議会に参加している農家の皆さんの声は?

当初は、生徒の皆さんを自宅に招くことに、不安や緊張もあったと思います。それでも、受け入れが始まれば、そんな心配はどこかに消え、楽しく過ごすことができ

ています。生徒の皆さんからも良い刺激をもらったという声も聞きました。プログラムや夕食の献立など、農家同士の情報交換も楽しみの一つになっています。

Q3 今後の目標を教えてください。

大変ありがたいことに、多くの学校から農家民宿の申し込みをいただいています。しかしながら、現在、申し込みに対して、受入農家が不足している状態です。市の農産物の魅力発信のためにも、多くの農家の皆さんに参加してほしいと思います。



広がる交流の輪

農家に届く感謝の手紙

後日、受入農家に生徒からの手紙が届いています。手紙には楽しかった思い出や感謝の気持ちが一人一人の言葉で綴られています。その素直な気持ちは受入農家の励みになり、今後の更なる交流を後押しします。

本年度、新たに始まった農家民

特集◎農家民宿事業

農家に学ぼう

肌で感じる、農業の楽しさ、厳しさ。
農家で過ごした忘れ難い旅の思い出。



解散式。受入農家に感謝の気持ちを込めて、歌を斉唱する生徒たち

宿事業。安曇野市の農業体験でしか味わうことができない魅力と感動が詰め込まれています。
※農家に届いた手紙を一部抜粋して紹介します。

▽大変お世話になりました。収穫した玉ねぎは甘くて、しゃきしゃきしていました。忘れられない味です。

▽夜、一緒に見た星空は、本当にきれいで感動しました。

▽小さくて真っ赤ないちごは宝石みたいに光っていて、宝探しの気分になりました。

▽昔話や豆知識がとても面白かったです。また、皆さんに会いに行きたいです。

